

赤潮・貧酸素情報（1）

令和7年9月3日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

9月2～3日に全域調査を行った結果、南部沿岸域の底層で酸素濃度の低下が確認されました。

＜貧酸素の状況＞

○9月2日に豊前市地先の底層で酸素濃度が30%を下回っています。（図1）

翌3日の中南部沿岸域の調査では、築上町椎田地先の底層で酸素濃度33%と低い値がみられています。（図2）

※貧酸素時の酸素濃度の基準（酸素濃度30%以下）

＜今後の対応＞

○今後の天候や海況によっては、海域が拡大することもあります。

○漁獲物を海中に留める漁業（かご漁業など）では操業に十分注意して下さい。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報にご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、

豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、増田)までご連絡下さい。

漁場調査結果

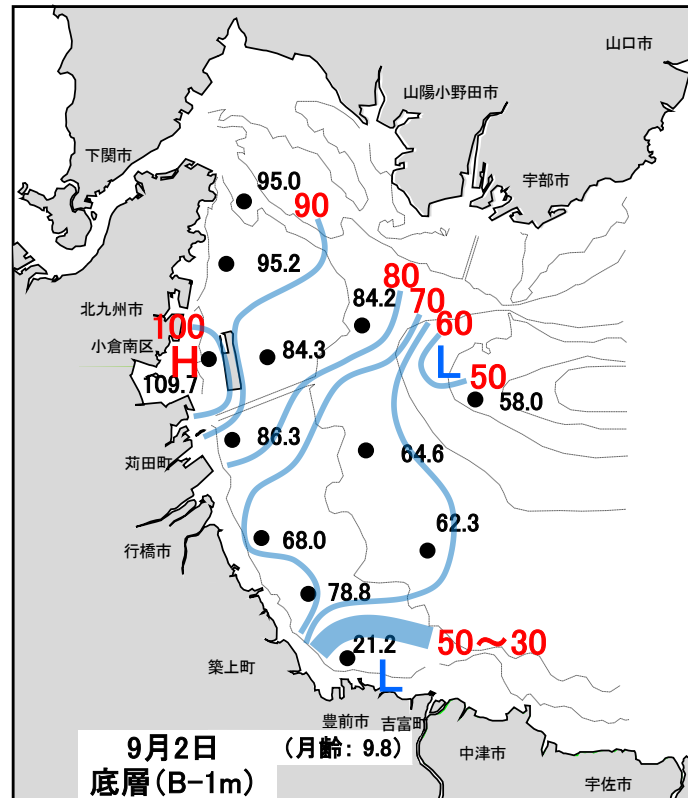


図 1 9 / 2 各調査点の底層の酸素濃度 (%)

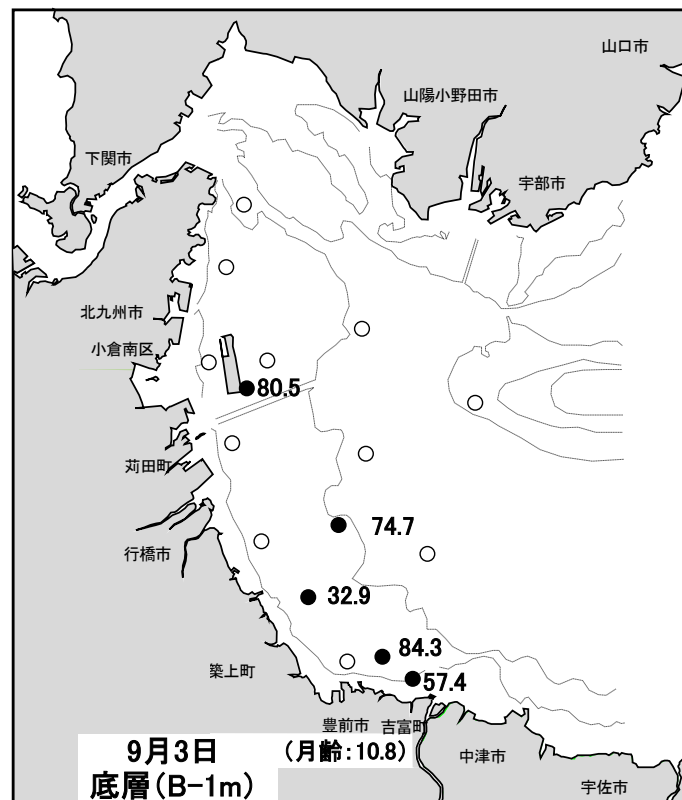


図 2 9 / 3 各調査点の底層の酸素濃度 (%)